

【教育目標:創造 温情 実践 健康】

経営理念

将来、持続可能な社会の創り手へと成長する生徒の土台を形成する。その土台とは、夢や志をもち自分で考動する力、多様性を理解する力、学び続ける力、たくましさ・しなやかさを併せもつ心身である。

行動指針

一 全教職員が挨拶・会話・協働を心掛け、居心地と風通しが良く、幸福で働き甲斐のある職場風土の醸成に努める。

一 全教職員が自分事として本校の課題を捉え、ベクトルを合わせて経営計画の具現・ビジョンの達成に挑む。  
一 全教職員が生徒・保護者に寄り添い、生徒の可能性を引き出し伸ばす教育を実践する。

ビジョン

目指す生徒の姿  
夢や志をもち、教養と品格を備え自分で考動し未来を切り拓く生徒

目指す教師の姿  
教育公務員としての使命を自覚し熱意と向上心に溢れ、教育のプロとして主体性を発揮する教師

目指す学校の姿  
保護者・地域から信頼され、誰もが通いたい・通わせたいと思う学校

★特色:ESDの概念をベースに課題解決を目指す

【身に付ける力:生徒】

- 夢や志をもち、自分で考動し、判断・決断して未来を切り拓く力
- 確かな学力と、困難を乗り越え、諦めず学び続ける力
- 自他の命を大切に思う心、多様性を認め、他者と対話し協働する力

【身に付ける力:教員】

- 意欲と情熱をもち、教育の充実のために、創造的なアイデアを生み出し、考動できる力
- 多様性を備え、他者と対話し協働して組織的な言動をとり、成果を出すことができる力
- 生徒・保護者に寄り添い、生徒の可能性を引き出し、伸ばす力

スロガン 考動を続けよう！

＜重点目標と方策＞

◎方策を講じるキーワード…『共感』『心理的安定』『完璧を求めない』『変化を恐れない』

	目 標	方 策
学校運営	<p>◇信頼される学校をつくるために、「社会に開かれた教育課程」の編成・実施、学校HPやH&amp;S及び学校公開週間等を利用した情報の受発信に努めるとともに、全教職員が教育公務員及び教育のプロとしての使命を自覚し、保護者・地域と連携・協力して教育活動を展開する。</p> <p>◇特別支援教育の理解を深め、生徒の可能性を引き出し伸ばす指導を行うとともに、課題や不登校傾向のある生徒等、個に応じた教育を充実させる。</p> <p>◇ライフ・ワーク・バランスの実現に向け、全教職員とその御家族の心身の健康と安全を保持増進できる職場環境の整備・向上に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が行動指針を遵守し、職層・職責に応じた言動をとり、組織的な情報共有、報連相記を徹底する。</li> <li>・全教職員の人権意識を高める取組、服務事故防止の啓発、体罰根絶の取組を継続的に行う。</li> <li>・地域の人的・物的資源を有効利用し教育活動の充実を図る。</li> <li>・令和7年度に向け、コミュニティースクール(CS)化と50周年行事に向けた準備を進める。</li> <li>・全教職員の特別支援教育に対する理解力と指導力の向上、SCや臨床心理士、外部諸機関との連携強化を図る。</li> <li>・全教職員が主体となり、連携大学生と協力してステップタイムに対応する。</li> <li>・行事や業務の精選、勤務時間・下校時刻の見直し、外部人材の確保と活用、持続できる部活動体制への改変を進め、教職員の過剰負担、超過勤務を縮減する。</li> <li>・教職員との対話し共感を大切に、居心地が良く働き甲斐のある職場風土の醸成に取り組む。</li> </ul>

<p>学習指導</p>	<p>◇「生徒が、夢や志をもち、自分で考動し、主体性を発揮して困難を乗り越え、人生を切り拓いて行くための資質・能力」の育成を図る。</p> <p>◇基礎的・基本的な知識・技能及び ICT 活用力を習得・向上させるための取組、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組、思考力・判断力・表現力等を育むための取組、多様性を理解し協働する生徒、授業好きな生徒、諦めず学び続ける生徒を育成する取組、教科横断的な取組を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員が弛まぬ授業改善と自己研鑽等による授業力・指導力を向上させる取組、即ち OJT の推進、校内研究・研修の充実、学期に1回以上の研究授業の実施、教師道場や校外研修・指導教諭の公開授業等への積極的な参加を推進する。</li> <li>・目標の明示、見通しをもたせる、振り返る授業を毎時間展開する。生徒を主体とした問題解決的な学習を積極的に導入する。</li> <li>・新聞を活用した朝学習、朝読書を、教員も共に徹底して行う。</li> <li>・ICT を積極的に活用し、個→集団→個の話し合い、自由な表現活動がある授業を単元に1回以上実践する。</li> <li>・単元評価による指導と評価の一体化を進め、評価の信頼性、授業改善の精度、基礎学力の定着度の向上を図る。</li> <li>・学力調査、意識調査等の分析結果を授業改善に活かす。</li> </ul>
<p>生活指導 進路指導</p>	<p>◇生徒に「自他の命の大切さやストレス等の対処法」、「人間関係を良好にしたり改善したりする力」を身に付けさせる。</p> <p>◇いじめや問題行動の未然防止、早期発見かつ迅速・丁寧で適切な対処、不登校等への組織的な対応を行う。</p> <p>◇社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる資質・能力を育むため、キャリア教育を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「命の教育」、「SOS の出し方に関する教育」等を推進し、信頼できる大人に相談する大切さを指導するとともに、道徳教育推進教師を中心に、全教員の「道徳」の指導力向上を図る。</li> <li>・アンケート調査の実施、軽微ないじめも見逃さない組織的な校内体制の構築、SC・臨床心理士や外部諸機関等との連携強化、不登校対応巡回教員の活用を図る。</li> <li>・「キャリアパスポート」の有効活用、職場体験、上級学校学習、校外学習等で、将来とのつながりやより良い職業観をもたせ、社会的・職業的自立に向けた基礎的・汎用的能力を育む。</li> </ul>
<p>特別活動 その他</p>	<p>◇自主的・実践的な活動を通し、たくましさ・しなやかさを併せもつ心身の育成、困難な状況や諸課題を自力で解決できる資質・能力を養う。</p> <p>◇「災害等の危険を予測し回避する能力」や「避難所の役割について理解する力」等、自他の命を守り、周辺地域の安全に貢献できる資質・能力を育む。</p> <p>◇生徒の自主的・自発的な活動の場となる部活動の体制を整える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間を核とした、経験や体験に富む SDGs 学習の計画的・系統的な展開、生徒会や教科・学年による小中連携の推進、生徒会の活発化、行事等で積極的に生徒を主体とする・生徒が主体となる機会の創出を図る。</li> <li>・現実に即した避難訓練を定期的実施し、自助・共助に必要な知識・技能を身に付けさせる。</li> <li>・周辺地域における災害等への対処法を考えさせると共に、生徒の待機や引き渡しができる体制を整える。</li> <li>・部活動ガイドラインを踏まえ、市教(委)や地域人材・団体との連携を強化し、持続可能な運営体制を目指す。</li> </ul>
<p>能力開発</p>	<p>◇将来の管理職候補者の育成を視野に学校マネジメント能力を育成するとともに、教員に求められる基本的な四つの力を育む。</p> <p>◇学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた授業改善を進め、全教員が学習指導力、ICT 活用力を高められるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職層を踏まえた人材育成体制を構築して OJT を推進し、「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」の育成を基本とし、特に主任職以上の者は、「学校運営力・組織貢献力」「外部との連携・折衝力」を高める職務を積極的に行う。</li> <li>・指導教諭や外部人材の招聘、研究の創意工夫等で校内研究の充実を図るとともに、教員が教師道場や研究員制度、校外研修等に積極的に参加できるようにする。</li> </ul>